

だい 旧代村屋台

100年ぶりの復元

熊谷市代で行われる八坂神社祭礼に向けて100年ぶり（推定）に屋台が組み立てられ、復元されます。7月15日午前8時30分から旧代村の屋台が披露されます。皆様のご観覧をお待ちしております。当日、午前9時より現地解説会を行います。

とき 平成30年7月15日（日）午前8時30分～披露（午後6時頃まで）
現地解説会 午前9時～（担当：熊谷市立江南文化財センター 山下祐樹）

ところ 熊谷市代980-2（八坂神社）：代自治会館（代983）より50m南側
（熊谷バイパスと国道407号線の交差点より北東側の地域）

概要 熊谷市の中部に位置する代地区（旧代村）で江戸時代中期より行われている八坂祭礼があり、現在では神輿渡御を中心とした夏祭礼となっている。かつては屋台を巡行させ、熊谷八坂祭礼（熊谷うちわ祭）に囃子・演芸の屋台として参加したとの伝承が残る。平成30年、地元の住民を中心に、神輿庫に隣接する倉庫にて保管されていた部材を組み立て、屋台を復元したいとの機運が高まり、6月より作業が開始された。そして試行錯誤を重ね、当地の鳶職（13番組）や建築士の指揮によって部材が組み立てられ（屋根や幕などを除く）大半の復元が可能となった。明治時代末期には屋台巡行が行われていたと伝わり、昭和時代初旬には休止されていたことを踏まえると、今回、約100年ぶりの組み立て復元となったことが推定される。屋台の木製4輪型の形態も当地域では珍しく、旧代村の歴史を今に伝える貴重な遺産としての価値を再認識することができる。



復元作業中の屋台

お問合せ 代屋台保存会 鯨井正雄 電話 048-521-2900

（屋台・歴史関連の問合せ：熊谷市立江南文化財センター 電話 048-536-5062）